

科目名	看護解剖生理学Ⅱ 体液・循環器系・呼吸器系（物質を運搬するしくみ）				DP4 DP6	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	27時間	担当 教員	専任（基幹）教員 (6.5)、(6.5)、(14)
科目概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、血液・循環器系・呼吸器系の解剖生理から物質を運搬するしくみを学ぶ。						
到達目標	1. 体液、血液、リンパの異常について理解する。 2. 体に血液を送るしくみを理解することができる。 3. 呼吸の機能を担う諸器官のしくみと、ガス交換のはたらきについて学び、理解することができる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～3	体液		体液の組成、当量と当量濃度、浸透圧と等張液 膠質浸透圧			講義	専任（基幹） 教員
	血液		血液の細胞成分、血漿、血液の異常、リンパ、浮腫 血液凝固、血液型				
4～6	呼吸器系の気管		呼吸系に属する器官、 鼻腔、咽頭、喉頭、気管及び気管支、肺、胸膜、縦隔				
	呼吸の生理		外呼吸と内呼吸、呼吸運動、呼吸数、換気量 肺活量、呼吸凌、血液ガス、呼吸の調節 異常な呼吸、酸素負債、発声				
7	試験		(1時間)			試験	専任（基幹） 教員
8～13	心臓		心臓の構造、心臓壁に分布する血管 心臓に分布する神経			講義	専任（基幹） 教員
	血管の種類と構造、循環		血管の種類と構造、肺循環の主な血管 体循環の主な血管（動脈系・静脈系） 体壁・上肢・下肢等の血管系				
	心臓の生理		自動能と刺激伝導系、心臓周期、心音と心拍数 心拍出量、心電図、心筋収縮の特性 心臓機能の調節				
	循環の生理		血管の性質、冠循環等				
	血圧		動脈血圧、動脈血圧の測定、血圧の調節				
14	試験		(1時間)			試験	
評価基準	専任（基幹）教員各（25点）、(25点)、(50点)の合計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、ルーブリック評価、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門1 人体のしくみと働き 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							